

# 昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真



地図を表示

Q. どこでしょうか？

1945年



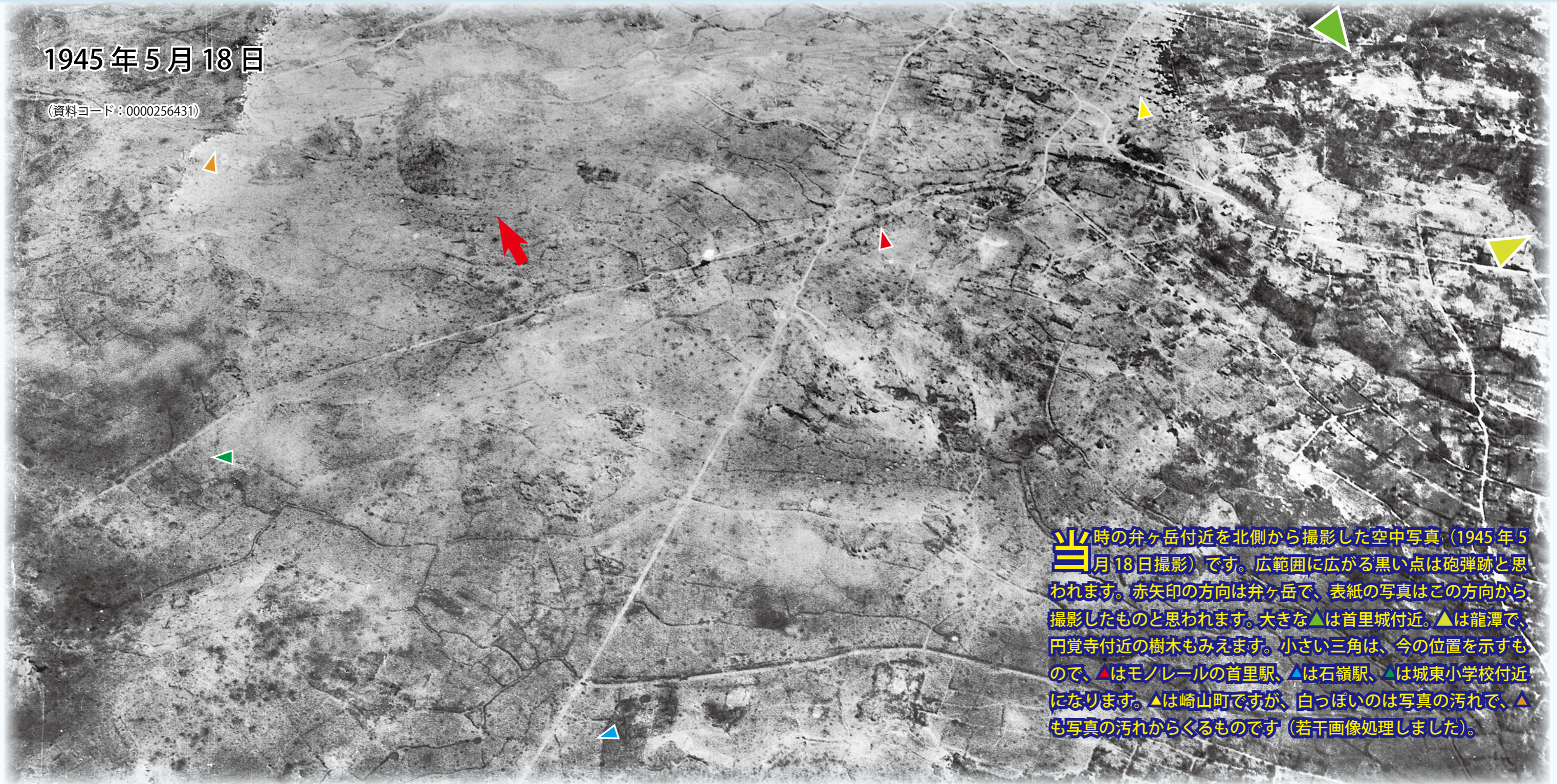
(写真番号：14-06-1をカラー処理)

那覇市首里 弁ヶ岳 57866 A.C

**米**軍の説明によると、首里城周辺の日本軍陣地に対する米軍の猛攻をあらわにした写真とされています。砲弾や爆弾跡と思われる穴に雨水が溜まって水玉模様をなし、丘の木々は幹だけ残しているのがわかります。日付は記されていませんが、梅雨時と思われ、日本軍が首里から撤退した5月下旬ごろと思われます。場所特定のヒントになったのは、写真手前の鉄塔、丘の裾に直線的に掘られたような線（塹壕でしょうか）、道路などでした。場所は那覇市首里の弁ヶ岳のようです。

1945年5月18日

(資料コード：0000256431)



**当**時の弁ヶ岳付近を北側から撮影した空中写真（1945年5月18日撮影）です。広範囲に広がる黒い点は砲弾跡と思われる。赤矢印の方向は弁ヶ岳で、表紙の写真はこの方向から撮影したと思われる。大きな▲は首里城付近。▲は龍潭で、円覚寺付近の樹木もみえます。小さい三角は、今の位置を示すもので、▲はモノレールの首里駅、▲は石嶺駅、▲は城東小学校付近になります。▲は崎山町ですが、白っぽいのは写真の汚れで、▲も写真の汚れからくるものです（若干画像処理しました）。

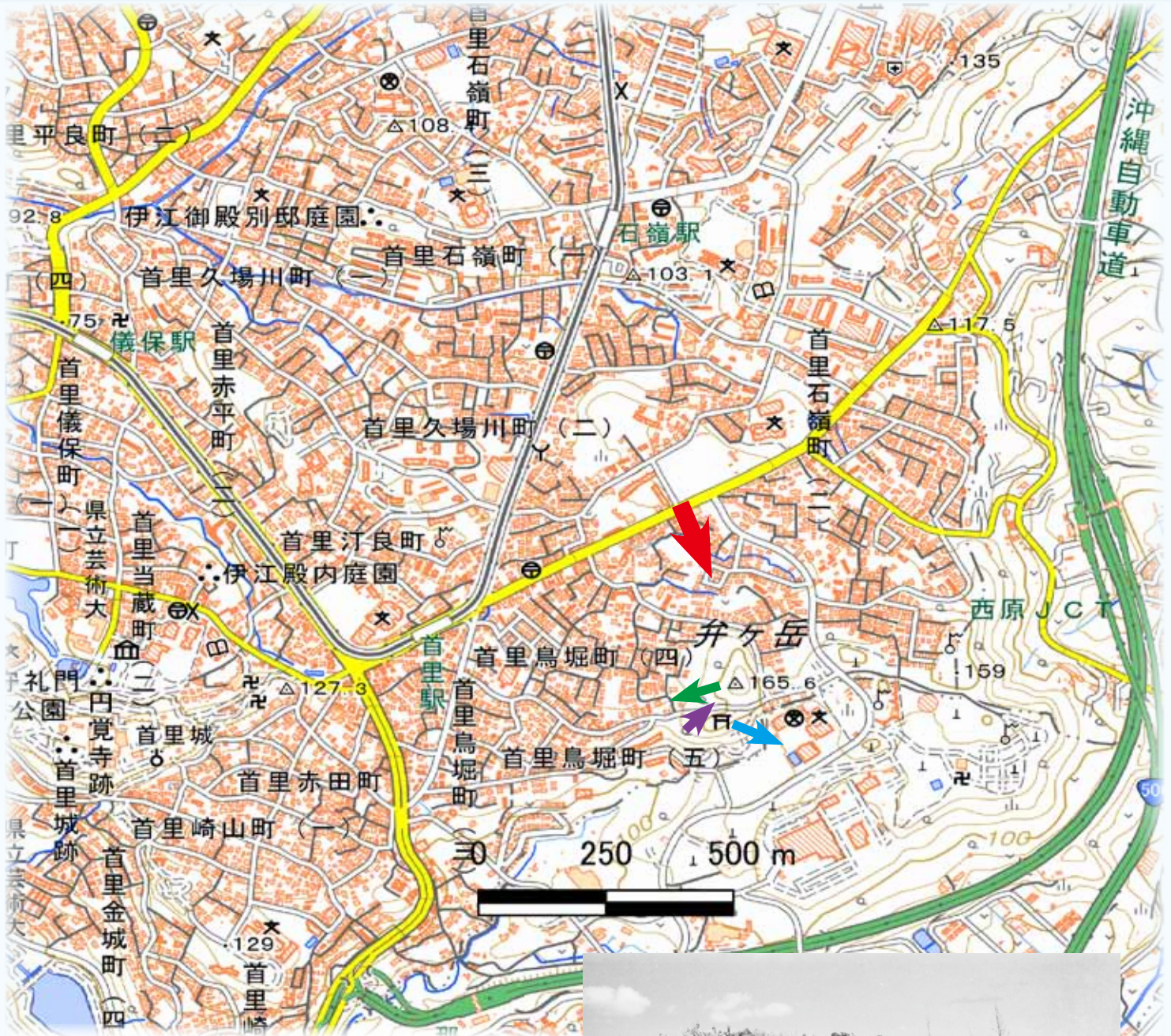


① 1945年1月3日の弁ヶ岳。鉄塔の影（▲）が少なくとも5本確認できます（資料コード：KS00000053【ON12835 031-2】）

② 1945年12月10日の弁ヶ岳。弁ヶ岳の裾に塹壕と思われる線（▲）がみられます（写真番号：AP451210A0\_020）

③ 弁ヶ岳から現在の開邦高校付近、知念半島方向をみる（1960年1月）（写真番号：045126）

④ 弁ヶ岳から▼城南小学校、テレビ塔、▼旧琉球大学、▼首里中学校をみる（1960年1月）（写真番号：045129）



弁ヶ岳付近について現在の地図（国土地理院）に示しました。モノレールの石嶺駅や首里駅と弁ヶ岳をみると位置関係がわかりやすくなると思います。表紙の写真は大きな赤矢印の方向から撮影したと思われる。前頁の①②の写真は弁ヶ岳の上空から、③の写真は小さい青矢印方向、④は緑矢印方向、⑤は紫矢印から撮影したと思われる。



⑤弁ヶ岳。樹木は低く、ススキなどもみられます（1960年1月）  
（写真番号：045124）

昔おきなわ風景探索 No. 9

発行日：令和7年（2025）7月14日  
編集執筆：当山昌直（1951年生）  
発行：（公財）沖縄県文化芸術振興会 公文書管理課  
〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内  
電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

増刷版 ※一部修正しました

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

